# 4
# インターネット

Web の基本操作 …… 4-2
ホームページを利用する…… 4-5
アドレスを使って Web ページに接続する …… 4-6
Web ページの表示履歴を利用する …… 4-7
タブを利用して複数の Web ページを開く …… 4-8
ブックマークを利用する…… 4-9
Web ページを検索する …… 4-12
ページメモを利用する…… 4-13
Web ページに関する機能を活用する …… 4-15
ブラウザの各種機能を設定する…… 4-20
接続先を変更する（インターネット設定）… 4-26

**お知らせ**

- ソフトウェアバージョン3.00以降はインターネットをご利用できません。

# Webの基本操作

## Webの利用を開始する／終了する

### Webの利用を開始する

**1　待ち受け画面で Web または ■ 3**

Webメニューが表示されます。このメニューから、インターネット上のWebページへの接続や、ブラウザに関する設定を行います。

**お知らせ**

- Webページの表示中にデータの送受信がないと、10分タイムアウトで通信が切断し、通信が切断されている状態のときに、無操作タイムアウト10分で待ち受け画面に戻ります。キー操作中、すでに通信が切断されていると、最後のキー操作から10分後に待ち受け画面に戻ります。

### Webの利用を終了する

**1　Webページの表示中に ⊙**

**2　▲▼で「Yes」を選択 ■**

## 公式サイトを表示する

ワイモバイルの提供する公式サイトに接続します。

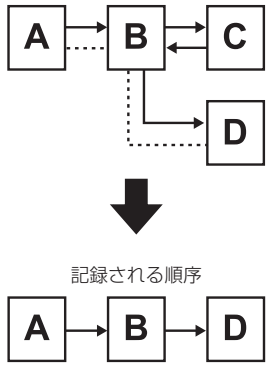
**1　待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 1**

## 前のページに戻る／次のページに進む

Webページをどのような順序で表示したかは、最新の50件分が自動的に記録されています。この記録を利用して、前後のページに移動することができます。

**● 記録順序**

図のように、A→B→Cの順番にWebページを表示させ、⊙（戻る）を押してBに戻ったあとDを表示させたときは、Cは消去されてA→B→Dの経路が記録されます。




⟶ 表示の順番
····· 記録される順序

### ひとつ前のページに戻る

**1　Webページの表示中に ⊙**

### 次のページに進む

**1　Webページの表示中に ⊙⊙ 2**

**お知らせ**

- 履歴の一覧を利用して、以前表示したページに接続することもできます。「Webページの表示履歴を利用する」（☞4-7ページ）
- 表示モードが「ケータイモード」の場合は、◀▶でひとつ前のページに、▶で次のページに移動することもできます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

## 表示範囲を移動する

Webページが縦に長く、1画面に収まらないときは、画面を上下に移動（スクロール）させて続きを表示させることができます。

**1　Webページの表示中に [◎]**

表示画面が上下に移動（スクロール）します。

## リンク先のWebページを表示する

Webページ内に表示されている他のWebページへのリンクがあるとき、このリンクを選択して他のWebページを表示することができます。Webページ内で選択されているリンクは、反転して表示されています。

**1　Webページの表示中に [◎] で目的のリンクに反転部分を移動 ► [■]**

リンク先のWebページが表示されます。

## Webページ上の電話番号に電話をかける

Webページの画面では、電話番号が記載されている箇所は他と違う色で表示されています。この電話番号を選択して、電話をかけることができます。

**1　[◎] で目的の電話番号にフォーカスを移動 [■]**

フォーカスされた電話番号は反転表示されます。

**2　[1.@*] ► [■] または [↶]**

表示された番号に電話がかかります。
通話終了後は、元のWebページの表示に戻ります。

### お知らせ

- 手順2の電話番号の確認画面で [••]（メニュー）を押すと、番号非通知や料金分計での発信を選択することができます。「発信者番号通知を設定する（番号通知）」（☞6-2ページ）、「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-60ページ）
- オフィスモードでWebを利用している場合は、手順2の電話番号の確認画面で [Web] を押すと、あらかじめ登録しておいた外線発信番号を付加することができます。また、[✉] を押すと発信するモードを一時的に切り替えることができます。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞8-4ページ）、「発信するモードを一時的に切り替える」（☞8-5ページ）
- 表示モードが「デスクトップモード」のときは、[◎] でもフォーカスを移動できます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

## Webページの電話番号にSMSを送信する

Webページの画面では、電話番号が記載されている箇所は他と違う色で表示されています。この電話番号を選択して、SMSを送信することができます。

**1　[◎] で目的の電話番号にフォーカスを移動 [■]**

フォーカスされた電話番号は反転表示されます。

**2　[2abc] ► SMSを作成し、送信**

「SMSを作成して送信する」（☞3-28ページ）

## WebページのEメールアドレスにメールを送信する

Webページの画面では、Eメールのアドレスが記載されている箇所は他と違う色で表示されています。このEメールアドレスを選択して、Eメールを送信することができます。

**1　[◎] で目的のEメールアドレスにフォーカスを移動 [■]**

フォーカスされたEメールアドレスは反転表示されます。

**2　[1.@*] ► Eメールを作成し、送信する**

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞3-7ページ）

### お知らせ

- 表示モードが「Smart-Fitモード」または「デスクトップモード」のときは、[◎] でもフォーカスを移動できます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

## 端末情報を通知する

Webページによっては、お客様の位置情報、電話番号、メールアドレスを利用するサービスを提供しています。Webページの表示中に、位置情報、電話番号、メールアドレスの要求があった場合、本電話機では情報を送信するかどうか確認する画面を表示します。端末情報を通知する場合は次のように操作します。

**1** で「Yes」を選択 ■

端末情報が送信されます。

**お知らせ**

- 端末情報は、送出される前に必ず確認画面が表示されます。
- 送出する端末情報は、インターネットを経由してコンテンツプロバイダに送られるため、場合によっては第三者に知られてしまう可能性があります。あらかじめご了承ください。

## フレームを選択する

Webページにフレームが設定されているときは、で画面がスクロールしなくなった状態で、さらにによる移動を行うと、最も近いフレームへ移動します。

**お知らせ**

- ブラウザの表示モードが「デスクトップモード」の場合は、で画面を左右にスクロールさせることもできます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

### 選択したフレームのみを表示する

Webページにフレームが設定されている場合、あるフレームを選択して画面に表示させることができます。

**1** Webページのフレームを選択

**2** 1 5

手順1で選択したフレームのみが表示されます。（戻る）を押すと、ページ全体の表示に戻ります。

# ホームページを利用する

最も頻繁に閲覧するWebページは、ホームページとして設定しておくと便利です。ホームページは、待ち受け画面から簡単な操作ですぐに表示させることができます。

## ホームページを設定する

ホームページを設定するには、アドレスを入力して指定する方法と、表示中のWebページをホームページに設定する方法があります。

### アドレスを入力して指定する

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3**

**2 9 7 1 ► ホームページに指定するWebページのアドレスを入力 ■**

ホームページが設定され、「ホームを設定しました」と表示されます。

### 表示中のWebページをホームページに設定する

**1 ホームページとして設定したいWebページを表示**

**2 ••• 0 7 2**

ホームページが設定され、「ホームを設定しました」と表示されます。

## ホームページを表示する

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 2**

**● Webページを表示中に、ホームページを表示するには**

••• （メニュー）を押し、6（Webページを開く）を押して、1（ホーム）を押します。

**お知らせ**

- Web を約1秒以上押してホームページを表示することもできます。

# アドレスを使ってWebページに接続する

アドレスを入力して、インターネット上のWebページに接続することができます。
また、入力したアドレスの履歴は自動的に20件まで保存されます。入力履歴を利用すると、以前接続したWebページに簡単に再接続できます。

## アドレスを入力してWebページに接続する

アドレスを入力して、インターネット上のWebページに接続します。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 7**

**● Webページの表示中に、Webページを開くメニューを表示するには**

（メニュー）を押し、6（Webページを開く）を押して、2（Webページを開く）を押します。

**2 1 ► アドレスを入力 ■**

「http://」はあらかじめ入力されているので、それ以降のアドレスを入力します。
URLは「http://」を含めて半角で1024文字まで入力できます。

**お知らせ**

- URL編集画面で、最初の文字が「http://」「https://」以外の文字で始まるとエラーとなり、編集のやり直しになります。

## 最後に表示していたWebページに接続する

最後に表示していたWebページに接続します。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 7**

**● Webページの表示中に、Webページを開くメニューを表示するには**

（メニュー）を押し、6（Webページを開く）を押して、2（Webページを開く）を押します。

**2 2 ► ■**

最後に表示していたWebページのアドレスが表示されます。表示されたアドレスを編集することもできます。

## アドレスの入力履歴からWebページに接続する（入力履歴）

過去に入力したアドレスの履歴から、インターネット上のWebページに接続することができます。履歴は20件まで保存されています。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 7**

**● Webページの表示中に、Webページを開くメニューを表示するには**

（メニュー）を押し、6（Webページを開く）を押して、2（Webページを開く）を押します。

**2 3 ► で表示したい入力履歴を選択 ■**

**● 入力履歴のアドレスを編集するには**

で入力履歴を選択して（メニュー）を押し、1（アドレス編集）を押します。アドレスの入力画面に、選択した入力履歴のアドレスが表示されるので、必要に応じて編集します。■ を押すと、編集後のアドレスへの接続が開始されます。

**● 入力履歴のアドレスを削除するには**

で入力履歴を選択して（メニュー）を押し、2（削除）を押します。「入力履歴を削除しますか？」と表示されるので、で「Yes」を選択し、■ を押します。

**お知らせ**

- 入力履歴は、以前Webページに接続した際に入力したアドレスの履歴が20件まで表示されます。（お買い上げ時にはURLの履歴がないため表示されません。）
- 入力履歴は、新しいものが一番上に表示されます。20件を超える履歴は古い順から上書きされます。

# Webページの表示履歴を利用する

接続したWebページのアドレスは、履歴として自動的に50件まで保存されます。履歴を利用すると、以前接続したWebページに簡単に再接続できます。

## 履歴からWebページに接続する（履歴）

**1　待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 5**

● **Webページの表示中に履歴一覧を表示するには**

（メニュー）を押して 6（Webページを開く）を押し、3（履歴）を押します。

**2　で表示したい履歴を選択 ■**

**お知らせ**

- 履歴一覧では、最後に保存された履歴が一番上に表示されます。

## 履歴のアドレスを確認する

履歴のアドレスを表示して確認することができます。

**1　履歴一覧を表示**

「履歴からWebページに接続する（履歴）」（☞同じページ内です。）

**2　で確認したい履歴を選択 ► 1**

履歴のアドレスが表示されます。（戻る）を押すと、履歴一覧に戻ります。

**お知らせ**

- 接続したWebページのアドレスが200文字を超えていたときは、正しく表示されません。

## Webページの表示履歴を削除する

Webページの表示履歴は1件ずつ個別に、または一括で削除できます。

### 履歴を個別に削除する

**1　履歴一覧を表示**

「履歴からWebページに接続する（履歴）」（☞同じページ内です。）

**2　で削除したい履歴を選択 ► 2**

**3　で「Yes」を選択 ■**

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

### 履歴をすべて削除する

**1　履歴一覧を表示**

「履歴からWebページに接続する（履歴）」（☞同じページ内です。）

**2　4 ► 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

**3　で「Yes」を選択 ■**

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

# タブを利用して複数のWebページを開く

本電話機では、3ページまでのWebページを切り替えて表示することができます。Webページの切り替えには、画面上部に表示される「タブ」を使います。
タブを使うと、複数のWebページを重ねたように表示できます。それぞれのWebページに表示されるタブを選択することで、一番上に表示することができます。

## リンクを新しいタブで開く

タブは、表示しているWebページが1ページだけのときは表示されません。Webページ上のリンクを新しいタブで開くと、今まで表示していたWebページと、新しく開いたリンク先のWebページのそれぞれにタブが設定されます。

**1 Webページの表示中に、◇で目的のリンクにフォーカスを移動**

**2 ■を約1秒以上 ► 2**

リンク先のWebページが開き、タブが2つ設定されます。
すでにタブが2つ設定されている場合は、3つ目のタブが設定されます。

**● タブを使わずリンクを開くときは**

1（開く）を押すと、タブが設定されずにリンク先のWebページに切り替わります。

**お知らせ**

- リンクにフォーカスを移動して••（メニュー）を押し、1（タブ操作）を押して2（新しいタブで開く）を押しても、リンク先のWebページが新しいタブで開きます。

## 表示するタブを切り替える

**1 タブが表示されているときにWeb**

または••1 2を押してください。タブが選択できる状態になります。

**2 ◇で表示するタブを切り替える**

◇でひとつ右のタブに、◇でひとつ左のタブに表示が切り替わります。

**3 ■で選択する**

## 表示中のタブを閉じる

現在表示中のタブのみを閉じます。

**1 タブが表示されているときに**
••1 3

## 表示していないタブを閉じる

現在表示していないタブをすべて閉じます。

**1 タブが表示されているときに**
••1 4

# ブックマークを利用する

よく見るWebページは、ブックマークに登録することで簡単に接続することができます。
ブックマークは200件まで登録することができます。

**お知らせ**

- ブックマーク一覧画面では、左下に登録された月/日、右下にフォーカス位置/ブックマーク総数が表示されます。

## ブックマークを登録する

### 表示中のWebページをブックマークに登録する

**1 Webページの表示中に [••] [5] [1]**

**2 タイトル画面が表示されるので [◎] で「Yes」を選択 [■]**

Webページがブックマークに登録され、「ブックマークを登録しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、あらかじめブックマークが登録されています。
- 登録したWebページにタイトルがないときは、アドレスをタイトルとしてブックマークに登録します。

### リンク先をブックマークに登録する

Webページ上のリンクを、ブックマークとして登録することができます。

**1 Webページの表示中に、[◎] で目的のリンクにフォーカスを移動**

**2 [■] を約1秒以上 ► [3]**

## ブックマークに登録したWebページに接続する

**1 待ち受け画面で [Web] または [■] [3] ► [3]**

**● Webページの表示中にブックマークフォルダ一覧を表示するには**

[••]（メニュー）を押し、[5]（ブックマーク）を押して、[2]（ブックマーク）を押します。

**2 [◎] でブックマークを選択 [■]**

## ブックマークにフォルダを作成する

**1 待ち受け画面で [Web] または [■] [3] ► [3]**

**2 [••] [1] ► フォルダ名を編集 [■]**

**お知らせ**

- フォルダは10件まで作成でき、各フォルダには20件まで登録できます。

## ブックマークフォルダ名を変更する

**1 ブックマークフォルダ一覧から、フォルダ名を変更したいフォルダを選択**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」（☞同じページ内です。）で、手順1～2の [◎] でブックマークが登録されているフォルダを選択するまでの操作を行います。

**2 [••] [2] ► フォルダ名を編集 [■]**

**お知らせ**

- フォルダ名は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

## ブックマークのタイトルやアドレスを編集する

ブックマークのタイトルをわかりやすく編集したり、アドレスを変更することができます。

**1 ブックマーク一覧から、タイトルやアドレスを編集するブックマークを選択**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の[◎]でブックマークを選択するまでの操作を行います。

**2 [••][2] ► [◎]で「タイトル」欄または「アドレス」欄を選択[■]**

● **ブックマークのアドレスを確認するには**

サブメニューで[7]（アドレス表示）を押します。この画面でアドレスを編集することはできません。[•]（戻る）を押すと、ブックマーク一覧に戻ります。

**3 タイトルまたはアドレスを編集[■] ► [••]**

タイトルを変更した場合は、ブックマーク一覧に変更後のタイトルが表示されます。

**お知らせ**

- タイトルは全角16文字(半角32文字)まで、アドレスは最大で半角1024文字まで入力できます。

## ブックマークを移動する

### ブックマークを他のフォルダに移動する

**1 ブックマーク一覧から、移動するブックマークを選択**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の[◎]でブックマークを選択するまでの操作を行います。

**2 [••][3]**

**3 [◎]で移動先フォルダを選択[■]**

ブックマークが移動し、「移動しました」と表示されます。

### ブックマークを1つ上／1つ下に移動する

**1 ブックマーク一覧から、移動するブックマークを選択**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の[◎]でブックマークを選択するまでの操作を行います。

**2 [••] ► [4]または[5]**

● **[4]（1つ上に移動）を押すと**

ブックマークの位置がひとつ上に移動します。

● **[5]（1つ下に移動）を押すと**

ブックマークの位置がひとつ下に移動します。

## マイメニューにブックマークを登録する

ブックマークをマイメニューに登録して、簡単にブックマークのアドレスに接続することができます。

**1 待ち受け画面で[◎]**

**2 [◎]で登録先を選択 ► [•][3][3]**

**3 マイメニューに登録するブックマークを選択**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の[◎]でブックマークを選択するまでの操作を行います。

**4 [■]**

ブックマークがマイメニューに登録され、「登録しました」と表示されます。

**お知らせ**

- マイメニューからブックマークを消去しても、元のブックマークは消去されません。
- 元のブックマークを消去しても、マイメニューのブックマークは消去されません。
- 元のブックマークのタイトルやアドレスを変更しても、マイメニューのブックマークは変更されません。

## ブックマークを削除する

### ブックマークを個別に削除する

選択したブックマークをフォルダから削除します。

**1 ブックマーク一覧から、削除するブックマークを選択**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の[◎]でブックマークを選択するまでの操作を行います。

**2** [••] [6] [1]

**3** [▲▼] で「Yes」を選択 [■]

ブックマークが削除され、「削除しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 手順2で [4]（全削除）を押すと、表示されているフォルダ内のブックマークをまとめて削除することができます。

## フォルダ内のブックマークをすべて消去する

選択したフォルダ内のブックマークをすべて消去します。

**1 ブックマークフォルダ一覧から、ブックマークを削除するフォルダを選択**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1～2の [▲▼] でブックマークが登録されているフォルダを選択するまでの操作を行います。

**2** [••] [6] [3] ► **暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」(☞6-6ページ)

**3** [▲▼] で「Yes」を選択 [■]

ブックマークが削除され、「削除しました」と表示されます。

## すべてのブックマークを削除する

全ブックマークフォルダ内の、すべてのブックマークをまとめて削除します。

**1 ブックマークフォルダ一覧を表示**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞4-9ページ)で、手順1の操作を行います。

**2** [••] [6] [4] ► **暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」(☞6-6ページ)

**3** [▲▼] で「Yes」を選択 [■]

ブックマークが削除され、「削除しました」と表示されます。

# Webページを検索する

インターネット上のWebページを検索したり、表示中のWebページから特定の文字列を検索することができます。

## インターネット上のWebページを検索する（インターネット検索）

探している情報に関連したキーワードを指定して、インターネット上のWebページを検索することができます。

**1　待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 4**

● **Webページの表示中にインターネット検索画面を表示するには**

（メニュー）を押して 4（ページ操作）を押し、2（インターネット検索）を押します。

**2　で「キーワード」欄を選択 ■ ► 検索キーワードを入力 ■**

**3　で「検索エンジン」欄を選択 ■ ► で利用する検索エンジンを選択 ■ ► **

検索エンジンは、Google、Infoseek、Yahoo!から選択できます。

**4　で表示する検索結果を選択 ■**

選択した検索結果への接続が開始されます。

**お知らせ**

- キーワードは全角128文字（半角256文字）まで入力できます。

## Webページ内の文字列を検索する（文字列検索）

表示中のWebページ内にある、特定の文字列を検索することができます。

**1　Webページの表示中に 4 1**

**2　検索キーワードを入力 ■**

**3　で検索方向を選択 ■**

検索方向は、「上方向へ検索」と「下方向へ検索」のいずれか一方を選択できます。

**4　で設定する検索オプションを選択 ■**

その検索オプションにチェックがつき、有効となります。チェックを外すには、もう一度そのオプションを選択して ■ を押します。
検索オプションの機能は次のとおりです。

● **大文字と小文字を区別**

大文字と小文字を区別して検索します。

● **ページの先頭から検索**

ページの先頭から検索します。チェックなしのときはページの末尾から検索します。

● **単語検索**

キーワードの文字列と完全に一致する文字列のみを検索します。

● **ラウンド検索**

検索方向に応じ、ページの末尾まで検索を終えるとページの先頭へ、ページの先頭まで検索を終えるとページの末尾へそれぞれ戻って検索します。

**5　 ► 次の文字列を検索する場合 ■**

Webページ内で最初に検索された文字列が反転表示されます。
検索条件に一致する文字列が存在しない場合は、「見つかりませんでした」と表示されます。
文字列の検索を終了する場合は、（中止）を押します。

**お知らせ**

- キーワードは全角128文字（半角256文字）まで入力できます。
- Webページの表示中に 4 1 を押すと、前回文字列検索を行ったときの検索条件が表示されます。

# ページメモを利用する

気に入ったWebページがあったら、Webページの内容をページメモとしてまるごと本電話機に保存できます。保存したWebページは、インターネットに接続せずに、待ち受け状態でいつでも何度でも見ることができます。ページメモは最大で10件まで保存することができます。

## ページメモを保存する

**1　Webページの表示中に [•••] [7] [1]**

タイトル入力ポップアップが表示されるので、[◎]で「Yes」を選択すると、「ページメモを保存しました」と表示され、ページメモが保存されます。

● **保存件数がいっぱいのときは**

「これ以上ページメモを保存できません」と表示され、保存することができません。

**お知らせ**

- 作成者の意図などにより、ページメモとして保存できないWebページがあります。
- 保存したWebページにタイトルがないときは、アドレスをタイトルとして保存します。

## ページメモを表示する

保存したページメモを表示します。

**1　待ち受け画面で [Web] または [■] [3] ► [6]**

● **Webページの表示中にページメモを表示するには**

[•••]（メニュー）を押して [7]（ページメモ）を押し、[2]（ページメモ）を押します。

**2　[◎]で表示したいページメモを選択 [■]**

**お知らせ**

- ページメモリストでは、最後に保存されたページメモが一番下に表示されます。

## ページメモのタイトルを編集する

ページメモのタイトルをわかりやすく編集できます。

**1　ページメモリストから、タイトルを編集するページメモを選択**

「ページメモを表示する」（☞同じページ内です。）

**2　[•••] [2] ► タイトルを編集 [■]**

**お知らせ**

- タイトルは全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

## ページメモのアドレスを確認する

ページメモのアドレスを表示して確認することができます。

**1　ページメモリストから、アドレスを確認するページメモを選択**

「ページメモを表示する」（☞同じページ内です。）

**2　[•••] [5]**

手順1のページメモのアドレスが表示されます。[•]（戻る）を押すと、ページメモリストに戻ります。

## ページメモを保護／保護解除する

ページメモを、誤って削除してしまわないように保護設定することができます。
保護されたページメモに対して削除の操作を行っても、「保護のため削除できません」と表示され、削除が実行されません。

### ページメモを保護する

**1　ページメモリストから、保護するページメモを選択**

「ページメモを表示する」（☞同じページ内です。）

**2　[•••] [6]**

**3　[◎]で「Yes」を選択 [■]**

選択したページメモに保護が設定されます。保護が設定されたページメモには、ページメモリストのタイトルに「 」が表示されます。

## ページメモの保護を個別に解除する

**1　ページメモリストから、保護解除するページメモを選択**

「ページメモを表示する」（☞4-13ページ）

**2　[••][6]**

**3　[◎]で「Yes」を選択[■]**

選択したページメモの保護が解除されます。保護が解除されたページメモは、ページメモリストの「[ ]」が消えます。

## ページメモの保護をすべて解除する

**1　ページメモリストを表示**

「ページメモを表示する」（☞4-13ページ）

**2　[••][7]**

**3　[◎]で「Yes」を選択[■]**

# ページメモを削除する

## ページメモを個別に削除する

保存されているページメモを1件ごとに削除できます。

**1　ページメモリストから、削除するページメモを選択**

「ページメモを表示する」（☞4-13ページ）

**2　[••][4][1]**

**3　[◎]で「Yes」を選択[■]**

ページメモが削除され、「削除しました」と表示されます。

## ページメモをすべて削除する

保存されているページメモをすべて削除します。ただし、保護されているページメモは削除されません。「ページメモを保護／保護解除する」（☞4-13ページ）

**1　ページメモリストを表示**

「ページメモを表示する」（☞4-13ページ）

**2　[••][4][4] ► 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

**3　[◎]で「Yes」を選択[■]**

ページメモが削除され、「削除しました」と表示されます。

# Webページに関する機能を活用する

## Webページを再読み込みする（再読込み）

表示しているWebページの情報を再取得し、内容を更新します。Webページの情報が正常に受信できなかったときなどに行います。

**1　Webページの表示中に [••] [3]**

## Webページの画像を保存する

本電話機で保存して表示できる画像データの形式はGIF、JPEG、BMP、およびPNGです。これらの画像データの形式はインターネット上で一般的に使われている形式です。

### 画像を選択して保存する（画像保存）

Webページ内にある画像を選択して、保存することができます。

**1　Webページの表示中に [••] [4] [3]**

**2　[◁▷] で保存する画像にフォーカスを移動 [••] ► [1]**

画像が「画像データ」フォルダに保存され、「保存しました」と表示されます。「データフォルダを活用する」（☞7-42ページ）

**お知らせ**

- 作成者の意図などにより、画像を保存できないWebページがあります。
- 画像はWebページ内で使用されている名前で保存されます。

### 背景の画像を保存する（背景画像保存）

Webページの背景となっている画像を保存することができます。

**1　Webページの表示中に [••] [4] [3]**

**2　[◁▷] で背景画像データを選択 [••] ► [1]**

背景画像が「画像データ」フォルダに保存され、「画像を保存しました」と表示されます。「データフォルダを活用する」（☞7-42ページ）

**お知らせ**

- 作成者の意図などにより、背景画像を保存できないWebページがあります。
- Webページがフレーム表示されているときは、選択中のフレームの背景画像が保存されます。

## Webページ内の文字列をコピーする

Webページ内のテキストから、テキストの一部、電話番号、メールアドレスなどの文字列を選択してコピーすることができます。コピーした文字列は、メモ帳やメール本文などにペーストすることができます。

### テキストを選択してコピーする

Webページ内のテキストの一部を選択してコピーすることができます。

**1　Webページの表示中に [••] [4] [4]**

**2　[◁▷] でコピー範囲の始点を選択 [■] ► [◁▷] でコピー範囲の終点を選択 [■]**

始点から終点までの範囲が反転し、クリップボード上にコピーされます。

### 電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスをコピーする

Webページの画面では、電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスが記載されている箇所は他と違う色で表示されています。これらを選択してコピーすることができます。

**1　[▯] で目的の電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスにフォーカスを移動**

フォーカスされた電話番号、Webページのアドレス、Eメールアドレスは反転表示されます。

**2　[■]（Webページのアドレスの場合は約1秒以上）► [▯] で「コピー」を選択 [■]**

**● ダイヤルボタンで選択するには**

サブメニュー上の「コピー」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

**お知らせ**

- 表示モードが「デスクトップモード」のときは、[◁▷]でもフォーカスを移動できます。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（☞4-21ページ）

## Webページの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

Webページの画面では、電話番号やメールアドレスが記載されている箇所は他と違う色で表示されています。この電話番号やメールアドレスを選択して、電話帳に登録することができます。

**1 [◇]で目的の電話番号やメールアドレスにフォーカスを移動**

フォーカスされた電話番号やメールアドレスは反転表示されます。

**2 [■] ► [◇]で「電話帳登録」を選択 [■]**

● **ダイヤルボタンで選択するには**

サブメニュー上の「電話帳登録」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

**3 [1.@*] または [2ABC]**

● **[1.@*]（新規登録）を押すと**

「新規登録する」（☞2-29ページ）に進みます。

● **[2ABC]（追加登録）を押すと**

「追加登録する」（☞2-30ページ）に進みます。

## BGMの音量を調整する（音量調節）

Webページの表示中に再生されるBGMの音量を調整することができます。
音量はOFFおよび1～5の範囲で調整できます。

**1 Webページの表示中に [••] [4GHI] [5JKL]**

現在の設定音量が表示されます。
オートサイレントやマナーモードが設定されているときは、「再生しますか？」と表示されます。[◇]で「Yes」を選択して[■]を押すと、現在の設定音量が表示されます。

**2 [◇]で音量を変更 [■]**

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「VOL.3」に設定されています。
- 設定した音量は、表示中のWebページでのみ有効です。
- Webページの表示中にBGMを再生しないよう設定することもできます。「BGMの再生を設定する（BGM）」（☞4-21ページ）

## BGMのサウンドデータを保存する（BGサウンドリスト）

Webページに設定されているBGMのサウンドデータを選択して、保存することができます。

**1 Webページの表示中に [••] [4GHI] [3DEF]**

**2 [◁▷]で保存するサウンドデータを選択 [••] [1.@*]**

サウンドデータを選択して[■]（再生）を押すと、サウンドが再生されます。
サウンドデータが「サウンドデータ」フォルダに保存され、「サウンドを保存しました」と表示されます。「データフォルダを活用する」（☞7-42ページ）

**お知らせ**

- 作成者の意図などにより、サウンドを保存できないWebページがあります。

## Webページの先頭／末尾にジャンプする

Webページの閲覧中に、そのページの先頭や末尾にジャンプすることができます。

**1 Webページの表示中に [•••] [4] [6]**

**2 [1] または [2]**

- **[1]（先頭へジャンプ）を押すと**
  Webページの先頭が表示されます。
- **[2]（末尾へジャンプ）を押すと**
  Webページの末尾が表示されます。

**お知らせ**

- フレームを選択しているときは、選択中のフレームの先頭／末尾にジャンプします。

## 文字サイズを変更する（文字サイズ）

Webページに表示される文字のサイズを、「12ドット」「16ドット」「20ドット」の3段階で設定することができます。ドット数の数値が大きいほど、表示される文字が大きくなります。

**1 Webページの表示中に [•••] [9] [4]**

**2 [◎] で文字サイズを選択 [■]**

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「16ドット」に設定されています。
- 複数のタブが表示されている場合、文字サイズの変更は表示中のタブでのみ有効となります。「タブを利用して複数のWebページを開く」（☞4-8ページ）
- 本機能は文字サイズのみの変更となります。画像などを含んだページ全体の拡大／縮小を行うときは、「画面の表示倍率を変更する（ズーム）」（☞4-22ページ）の操作を行ってください。

## 文字コードを変更する（エンコード）

Webページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを切り替えて表示し直してください。

- **文字コードとは？**
  コンピュータで文字を扱うために文字に割り当てられたコードです。コンピュータは、このコードを文字に変換して、ディスプレイに表示しています。コードの割り当ての規格にはいくつかの種類があります。
  本電話機は、シフトJIS、EUC、JISコード（ISO-2022-JP）、Unicode（UTF-8）、ISO 8859、ASCIIコードに対応しています。本電話機でWebページを表示するときは、Webページがどの規格の文字コードで作成されているかを自動的に判断して、規格に従って文字を変換します。文字コードの自動判断がうまく働かなかったときには、文字コードを切り替えて、Webページの文字を変換し直してください。

**1 Webページの表示中に [•••] [9] [5]**

**2 [◎] で文字コードを選択 [■]**

変更後の文字コードで、Webページの文字が変換し直されます。

## Webページの情報（プロパティ）を表示する

### ページのプロパティを表示する（ページプロパティ）

表示中のWebページのタイトル、アドレス、MIMEタイプ（データタイプ）、更新日、データサイズを表示します。

**1 Webページの表示中に**
**[•••] [9] [7] [1]**

表示中のWebページの情報が表示されます。
1画面に表示しきれないときは、[◎] で続きを表示させることができます。
[•]（戻る）を押すと、表示中のWebページに戻ります。

**お知らせ**

- この画面でアドレスを編集することはできません。

### 画像のプロパティを表示する（画像プロパティ）

選択した画像のアドレス、MIMEタイプ（データタイプ）、更新日、データサイズ、転送可否、保存可否を表示します。

**1 Webページの表示中に [•••] [4] [3]**

**2** [◁▷]でプロパティを表示する画像を選択[••][2]

選択した画像の情報が表示されます。
1画面に表示しきれないときは、[▽]で続きを表示させることができます。
[•]（戻る）を押すと、オブジェクト選択画面に戻ります。

**お知らせ**

- この画面でアドレスを編集することはできません。

## SSL証明書の内容を確認する（SSL証明書）

SSLで保護されたWebページを表示しているとき、使用されているSSL証明書の内容を表示します。

**● SSL（Secure Sockets Layer）とは**

Netscape Communications社の提唱するセキュリティ機能の付加されたHTTPプロトコル(通信のための規約)です。インターネット上でプライバシーやクレジットカード番号などに関する情報を、盗用を防ぎ安全にやりとりするために考案されたものです。
SSLで保護されているWebページにアクセスしようとしたときには、まずWebページの持っている証明書や、本電話機が持っている証明書が有効かどうかの確認が行われます。証明書が有効なときには、お客様の個人情報などを、そのWebページに安全に送ることができます。

**1** SSL対応Webページの表示中に[••][9][7][2]

**2** [△▽]で内容を表示するSSL証明書を選択[■]

SSL証明書の内容が表示されます。[•]（戻る）を押すと、SSL証明書の一覧に戻ります。

### ■SSLで保護されたWebページを表示する

SSL証明書の期限の切れているWebページや、本電話機のSSL証明書と異なる証明書を使用しているWebページを表示しようとしたときは、「接続先の安全性を確認できません。接続しますか？」と表示されます。
[△]で「Yes」を選択して[■]を押すと接続はできますが、この場合、お客様の個人情報を安全に送信することができません。ご注意ください。

**お知らせ**

- 本電話機には、SSL証明書が52件登録されています。

## ファイルをダウンロードする

Webサーバから画像、サウンド、アプリケーションなどのファイルをダウンロードして本電話機に保存することができます。
ダウンロードできるファイルの名称などは、他と違う色で表示されています。
ダウンロードしたファイルは、開いてから保存することも、保存してから開くこともできます。

**1** [◁▷]でダウンロードするファイルにフォーカスを移動する

フォーカスされたファイルは反転表示されます。

**2** [■]

「保存するか開くかを選択してください」と表示されます。

**● ファイルを開いてから保存するときは**

[△▽]で「開く」を選択して[■]を押すと、すぐにファイルのダウンロードが開始され、完了するとファイルが開きます。音声データの場合は[■]（再生）、[■]（停止）で音を確認できます。
[••]（保存）を押すと、ファイルが保存されます。保存先フォルダは、ファイルの種類によって決まっています。「データフォルダを活用する」(☞7-42ページ)

**● ファイルを保存してから開くときは**

[△▽]で「保存」を選択して[■]を押すと、ファイルが保存されます。保存先フォルダは、ファイルの種類によって決まっています。「データフォルダを活用する」(☞7-42ページ)
ファイルのダウンロードと保存が完了すると、「ダウンロード完了しました。開きますか？」と表示されます。[△]で「Yes」を選択して[■]を押すと、ファイルが開きます。音声データの場合は[■]（再生）、[■]（停止）で音を確認できます。

**お知らせ**

- 作成者の意図などにより、ダウンロードして開くことはできても保存はできないファイルがあります。
- ファイルの種類によっては、一度ファイルを開かないと保存できない場合があります。

## Javaアプリケーションをダウンロードする

Javaアプリケーションをダウンロードし、本電話機にインストールすることができます。

**1 ⊕でダウンロードするJavaアプリケーションにフォーカスを移動**

フォーカスされたJavaアプリケーションは反転表示されます。

**2 ■ ► ⊕で「はい」を選択■**

「インストールしますか？」と表示されます。Javaアプリケーションのダウンロード、保存、インストールが行われます。
「情報」を選択して■（実行）を押すと、アプリケーションのファイル名などの情報が表示されます。⊙（戻る）を押すと、インストールの確認画面に戻ります。

## ファイルをアップロードする

本電話機に保存されているファイルを、Webサーバへアップロードすることができます。

**1 Webページで、⊕でファイル選択用ボタン（「参照」など）にフォーカスを移動**

**2 ■ ► アップロードするフォルダを選択■**

「データフォルダを活用する」（☞7-42ページ）

**3 アップロードするファイルを選択■**

**4 ⊕で送信用ボタン（「送信」など）にフォーカスを移動■**

# ブラウザの各種機能を設定する

画面の表示やBGMの再生など、ブラウザに関する各種設定を行います。ブラウザに関する設定は、表示するすべてのWebページに対して適応されます。

## JavaScriptの有効／無効を設定する（JavaScript）

JavaScriptとは、Webページに動きをつけたり、閲覧者の操作に対して何らかの反応を返すためのプログラムの一種です。JavaScriptを無効にすると、Webページの動きや反応などは正しく表示されなくなりますが、複雑なJavaScript が組み込まれているWebページを表示するときに、読み込みが速くなります。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9 1**

**● Webページの表示中に表示メニューを表示するには**

（メニュー）を押して 0（オプション）を押し、1（表示）を押します。

**2 1 ► で有効／無効を選択 ■**

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「有効」に設定されています。

## アニメーションの表示／非表示を設定する（アニメーション）

Webページを表示する際に、アニメーションを表示するかどうかを設定します。表示しないように設定すると、アニメーションをダウンロードしません。アニメーションデータの大きいWebページを表示するときに、読み込みが速くなります。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9 1**

**● Webページの表示中に表示メニューを表示するには**

（メニュー）を押して 0（オプション）を押し、1（表示）を押します。

**2 2 ► で表示する／表示しないを選択 ■**

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「表示する」に設定されています。

## 画像の表示方法を設定する（画像）

Webページを表示する際に、画像を表示するかどうかを設定します。表示しないように設定すると、画像をダウンロードしません。画像データの大きいWebページを表示するときに、読み込みが速くなります。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9 1**

**● Webページの表示中に表示メニューを表示するには**

（メニュー）を押して 0（オプション）を押し、1（表示）を押します。

**2 3 ► で画像の表示方法を選択 ■**

**●「表示する」を選択すると**

Webページを表示する際、すぐに画像を読み込んで表示します。

**●「オンデマンド表示」を選択すると**

Webページに接続した際、すぐに画像を読み込むのではなく、スクロール操作などによって表示領域に画像が入ったときに読み込みを行って表示します。

**●「表示しない」を選択すると**

Webページに接続しても、画像を読み込まず表示しません。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「表示する」に設定されています。
- 画像を表示しない場合、画像の位置には「」が表示されます。

## テーブル機能の有効／無効を設定する（テーブル）

Webページを表示する際に、表形式として定義されたデータ（テーブル）を表示させるかどうかを設定します。設定を「無効」にすると、ページによっては表示が速くなりますが、レイアウトがくずれてしまうことがあります。

**1** 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9 1

● **Webページの表示中に表示メニューを表示するには**

（メニュー）を押して 0（オプション）を押し、1（表示）を押します。

**2** 4 ► で有効／無効を選択 ■

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「有効」に設定されています。

## 自動判別する言語を設定する（自動判別言語）

コンテンツの自動判別に使用する言語を設定します。

**1** 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9 1

● **Webページの表示中に表示メニューを表示するには**

（メニュー）を押して 0（オプション）を押し、1（表示）を押します。

**2** 5 ► で言語を選択 ■

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「日本語」に設定されています。

## BGMの再生を設定する（BGM）

WebページにBGMのサウンドデータが埋め込まれているときに、そのBGMを再生するかどうかを設定します。

**1** 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

（メニュー）を押して、0（オプション）を押します。

**2** 2 ► 1 (ON) ／ 2 (OFF) で再生する／しないを選択 ■

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「再生する」に設定されています。
- BGMの再生中に音量を調整することもできます。「BGMの音量を調整する（音量調節）」（☞4-16ページ）

## 画面の表示幅を設定する（表示モード）

Webページの横幅が1画面に収まるように調整して表示するか、調整せずに表示して横スクロールを使って閲覧するかを設定します。また、Webページ表示中の の動作を設定します。

**1** 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 8

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

（メニュー）を押して、8（オプション）を押します。

**2** で表示モードを選択 ■

● **「ケータイモード」を選択すると**

- Webページの横幅が1画面に収まるように表示します。画面の横スクロールには対応しません。
- でひとつ前の履歴に戻り、 で次の履歴に進みます。
- でフォーカスが移動します。
- ユーザエージェントが「ワイモバイル」に固定されます。「ユーザエージェントを選択する（ユーザエージェント）」（☞4-24ページ）

● **「デスクトップモード」を選択すると**

- Webページの横幅が広い場合は、 で画面を横にスクロールすることができます。
- でフォーカスが移動します。
- による履歴の移動は行えません。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「ケータイモード」に設定されています。
- Webページの表示中は、 を押すと表示モード切り替えの選択ができます。

## 画面のスクロール量を設定する（スクロール）

Webページの画面を上下にスクロールするときの移動量を設定します。

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

（メニュー）を押して、9（ページ設定）を押します。

**1** 6 ► でスクロール量を選択 ■

● **「1行」「1/4画面」「1/2画面」を選択すると**

によって、Webページが選択した分だけ上下にスクロールします。

● **「1画面」を選択すると**

によって、Webページが1画面分上下にスクロールします。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「1/4画面」に設定されています。
- スクロール量が「1画面」に設定されていても、表示されている画面内に、選択可能なリンクや文字列（Webページのアドレス、電話番号、Eメールアドレスなど）がある場合は、そのリンクや文字列へのフォーカス移動が優先されます。

## 画面の表示倍率を変更する（ズーム）

Webページの画面表示倍率を変更します。25～200%の間で、9段階に変更できます。

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

（メニュー）を押して、9（ページ設定）を押します。

**1** 3 ► で「ズーム」欄を選択 ■

**2** で表示倍率を選択 ■

画面の表示倍率が変更され、表示中のWebページの画面に戻り、ズーム設定画面が消えます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「100%」に設定されています。
- Webページの表示中に または を約1秒以上押しても、画面の表示倍率を変更できます。

## キャッシュに関する設定を行う（キャッシュ）

ブラウザは、Webページを構成する一連のWebページ、画像ファイル、音楽ファイルなどを、キャッシュと呼ばれるメモリに読み込んで表示しています。
キャッシュを利用すると、他のページに移動したあと直前のページに戻りたいときなどに、あらためてWebページを読み込む必要がないので、画面の表示が速くなります。

### キャッシュメニューを表示する

**1** 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

（メニュー）を押して、0（オプション）を押します。

**2** 4 1

キャッシュメニューが表示されます。

### キャッシュモードを設定する

Webページを表示する際、キャッシュに保持されているデータと、ネットワークから取得するデータのどちらを優先させるかを設定します。

**1** キャッシュメニューを表示

「キャッシュメニューを表示する」（☞同じページ内です。）

**2** 1 ► でキャッシュモードを選択 ■

● **「ネットワークのみ」を選択すると**

キャッシュを使用せず、必ずネットワーク上からデータを取得して表示します。

● **「ネットワーク優先」を選択すると**

Webページにアクセスするたびにコンテンツの日時情報などをチェックし、コンテンツが更新されている場合はネットワークから、更新されていない場合はキャッシュからデータを取得して表示します。

● **「キャッシュ優先」を選択すると**

キャッシュにデータが保持されている場合はキャッシュから、データが保持されていない場合はネットワークからデータを取得して表示します。

● **「キャッシュのみ」を選択すると**
キャッシュに保持されているデータのみ表示します。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「ネットワーク優先」に設定されています。

## Diskキャッシュの使用を設定する

**1 キャッシュメニューを表示**

「キャッシュメニューを表示する」(☞4-22ページ)

**2 [2] ► [▲▼] で使用する／しないを選択 [■]**

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「使用しない」に設定されています。

### ■Diskキャッシュを削除する

キャッシュメニューで [3]（Diskキャッシュ削除）を押すと、「全件削除しますか？」と表示されます。
[▲▼] で「Yes」を選択して [■] を押すと、Diskキャッシュがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

## Cookieに関する設定を行う（Cookie）

Webサーバが「Cookie（クッキー）」と呼ばれる情報を送ってきたときの受信方法を設定することができます。

**1 待ち受け画面で [Web] または [■] [3] ► [9]**

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
[••]（メニュー）を押して、[0]（オプション）を押します。

**2 [4] [2] [1] ► [▲▼] でCookieモードを選択 [■]**

● **「受け入れる」を選択すると**
すべてのCookieを受信し、保存します。

● **「受け入れない」を選択すると**
すべてのCookieを受信しません。

● **「確認する」を選択すると**
「Cookieを受信しますか？」と表示されます。「Yes」を選択して [■] を押すと、Cookieが受信されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「受け入れる」に設定されています。

### ■Cookieを削除する

「Cookie」設定画面で [2]（Cookie削除）を押すと、「全件削除しますか？」と表示されます。
[▲▼] で「Yes」を選択して [■] を押すと、Cookieがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

## 最大リフレッシュ回数を設定する（最大リフレッシュ回数）

リフレッシュによるアドレス移動の回数を制限することができます。

**1 待ち受け画面で [Web] または [■] [3] ► [9]**

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
[••]（メニュー）を押して、[0]（オプション）を押します。

**2 [4] [3] ► [▲▼] で最大リフレッシュ回数を選択 [■]**

● **「0回」を選択すると**
リフレッシュを禁止にします。

● **「1回」「5回」を選択すると**
最大リフレッシュ回数を1回、5回に設定します。

● **「無制限」を選択すると**
リフレッシュ回数に制限を設けません。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「無制限」に設定されています。

## 最大リダイレクト回数を設定する（最大リダイレクト回数）

リダイレクトによるアドレス移動の回数を制限することができます。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9**

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
（メニュー）を押して、0（オプション）を押します。

**2 4 4 ► で最大リダイレクト回数を選択 ■**

● **「0回」を選択すると**
リダイレクトを禁止にします。

● **「1回」「5回」を選択すると**
最大リダイレクト回数を1回、5回に設定します。

● **「無制限」を選択すると**
リダイレクト回数に制限を設けません。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「無制限」に設定されています。

## ポップアップブロックを設定する（ポップアップブロック）

広告などのポップアップウィンドウの自動表示をブロックするかどうか、設定することができます。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9**

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
（メニュー）を押して、0（オプション）を押します。

**2 4 5 ► で使用する／しないを選択 ■**

● **「使用する」を選択すると**
ポップアップウィンドウを自動的に表示しないようブロックします。

● **「使用しない」を選択すると**
ポップアップウィンドウを自動的に表示します。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「使用する」に設定されています。

## 認証データの有効／無効を設定する（認証データ）

認証データの有効／無効を設定することができます。
「有効」にすると、認証時に入力したアカウントとパスワードが保存されます。「無効」にすると、入力したアカウントとパスワードが毎回削除されます。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9**

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
（メニュー）を押して、0（オプション）を押します。

**2 4 7 ► で有効／無効を選択 ■**

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「有効」に設定されています。

## ユーザエージェントを選択する（ユーザエージェント）

ユーザエージェントを選択することができます。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9**

● **Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**
（メニュー）を押して、0（オプション）を押します。

**2 4 8 ► でユーザエージェントを選択 ■**

**お知らせ**

- 表示モードがケータイモードの場合は、ワイモバイルのユーザエージェント以外は選択できません。

## 証明書の有効／無効を設定する（証明書）

SSLのルート証明書およびCA証明書の有効／無効を設定することができます。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9**

**● Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

（メニュー）を押して、0（オプション）を押します。

**2 5 ► 1 または 2**

**3 で証明書を選択 ■**

**4 ► で有効／無効を選択 ■**

証明書の有効／無効が設定され、手順3の証明書の内容表示に戻ります。（戻る）を押すと、手順2の証明書の一覧に戻ります。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、すべての証明書が「有効」に設定されています。

## ブラウザに関する各種設定を確認する（設定確認）

ブラウザに関する各種設定の内容を確認することができます。

**1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 9**

**● Webページの表示中にオプションメニューを表示するには**

（メニュー）を押して、0（オプション）を押します。

**2 6**

ブラウザに関する各種設定が一覧表示されます。表示項目は でスクロールできます。

# 接続先を変更する（インターネット設定）

本電話機はインターネット標準のプロトコルを採用しているので、自分がパソコンで使っている一般のプロバイダなどにダイヤルアップで接続したり、会社のネットワークに接続することができます。
また、一般のプロバイダなどのメールアカウントを利用してEメールを送受信することができます。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞3-26ページ）

・一般のプロバイダをご利用になるときは、別途プロバイダとの契約が必要です。
・プロバイダによっては、サーバの設定や接続条件により接続できない場合があります。

## ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）

ダイヤルアップの接続先は3件まで設定できます。1件は「ワイモバイル」に固定されていますが、あとの2件については接続先を任意に設定できます。ご利用になるプロバイダからの通知内容をもとに以下の設定を行ってください。詳しい設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。
オフィスモードで事業所内のネットワークなどに接続する場合の設定内容については、社内のLAN管理者などにお問い合わせください。また、オフィスモードで利用するには、事業所等に設置されている事業所用PHSシステムに本電話機が登録されている必要があります。「オフィスモードで使う」（☞8-3ページ）

**1　待ち受け画面で Web 0**

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ■ 5 6 4 または ✉ * ・・ を押して表示することもできます。

**2　1 ► 2 または 3**

接続先の設定画面が表示されます。
1（ワイモバイル）を押した場合は、料金分計の設定のみ変更できます。接続先などは変更できません。「5（料金分計）」（☞4-27ページ）

**3　1 ～ 9 のいずれかを押し、表示された設定画面で入力・設定を行う**

次の項目が入力・設定できます。

- 1（接続先名称）（☞4-27ページ）
- 2（接続先電話番号）（☞4-27ページ）
- 3（ユーザID）（☞4-27ページ）
- 4（パスワード）（☞4-27ページ）
- 5（料金分計）（☞4-27ページ）
- 6（ワンタイムパスワード）（☞4-27ページ）
- 7（Proxy利用）（☞4-27ページ）
- 8（Proxyサーバ名）（☞4-27ページ）
- 9（Proxyポート番号）（☞4-27ページ）

**4　必要に応じて手順3を繰り返し、各項目を入力・設定**

**5　さらに詳細な設定を行う場合は 0 を押し、各項目を入力・設定**

次の項目が入力・設定できます。ただしワイモバイルの場合、9（詳細設定）は設定できません。

- 1（IPアドレス自動取得）（☞4-28ページ）
- 2（IPアドレス）（☞4-28ページ）
- 3（DNS自動取得）（☞4-28ページ）
- 4（プライマリDNS）（☞4-28ページ）
- 5（セカンダリDNS）（☞4-28ページ）
- 6（Proxy認証）（☞4-28ページ）
- 7（Proxyユーザ名）（☞4-28ページ）
- 8（Proxyパスワード）（☞4-28ページ）

各項目の設定が完了したら、（完了）を押してください。「設定しました」と表示され、手順2の接続先の設定画面に戻ります。

**6　設定が完了したら**

接続先が設定され、「ダイヤルアップ設定しました」と表示されます。

**7　次の接続先を設定するときは、手順2～6を繰り返す**

**お知らせ**

- 接続先名称、接続先電話番号、ユーザIDの3つの項目を入力しないと「完了」は表示されません。
- 「編集を中止しますか？」が表示された状態で操作を中止すると、入力した内容は反映されません。

## ダイヤルアップの各項目を設定する

### ■ 1 （接続先名称）

お好みの名称をつけることができます。接続先名称を、全角8文字（半角16文字）以内で入力し、■を押します。

### ■ 2 （接続先電話番号）

プロバイダから通知された、ダイヤルアップの接続先電話番号（アクセスポイント）を、32桁以内で入力し、■を押します。「利用できる通信方式」（☞5-3ページ）
また、アクセスポイントの対応通信方式に合わせて、電話番号に続けて下表の番号を入力してください。

| アクセスポイント | 電話番号に続けて |
|---|---|
| 4x パケット方式※、2x パケット方式※ | ##64 |
| 1x パケット方式※ | ##61 |
| 64kPIAFS（ベストエフォート） | ##4 |
| 64kPIAFS（ギャランティー） | ##41 |
| 32kPIAFS | ##3 |
| フレックスチェンジ方式※ | ##7 |

「発信者番号通知を設定する（番号通知）」（☞6-2ページ）の設定に関係なく、本電話機の電話番号がアクセスポイントに通知されます。あらかじめご了承ください。

※4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、フレックスチェンジ方式対応の料金コースをご利用のお客様は、32kPIAFS、64kPIAFSで通信を行う場合、パケットごとの課金ではなく時間で課金されるため、別途料金が発生しますのでご注意ください。

**お知らせ**

- 64kPIAFS方式をご利用になる場合は、「通信方式を設定する」（☞5-17ページ）もご覧ください。

### ■ 3 （ユーザID）

プロバイダから通知されたユーザIDを、半角64文字以内で入力し、■を押します。

### ■ 4 （パスワード）

プロバイダから通知されたパスワードを、半角128文字以内で入力し、■を押します。

### ■ 5 （料金分計）

料金分計サービスを利用する場合は 1（ON）、利用しない場合は 2（OFF）を押します。
料金分計サービスを利用すると、メール送信の料金の請求先を主計先と分計先の2箇所に分けることができます。料金分計を「OFF」に設定すると料金は主計先に、「ON」に設定すると分計先に請求されます。料金分計は、お申し込みが必要な有料のサービスです。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞7-60ページ）
料金分計サービスは、待受モードが「公衆」のとき、または「公衆/オフィス」「公衆/グループ」で公衆優先に設定されているときにご利用になれます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

### ■ 6 （ワンタイムパスワード）

接続のたびにワンタイムパスワードを入力する場合は 1（ON）、入力しない場合は 2（OFF）を押します。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

### ■ 7 （Proxy利用）

接続にProxyサーバを利用する場合は 1（ON）、利用しない場合は 2（OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

### ■ 8 （Proxyサーバ名）

7（Proxy利用）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバの名称を半角64文字以内で入力し、■を押します。7（Proxy利用）が「OFF」の場合は設定できません。

### ■ 9 （Proxyポート番号）

7（Proxy利用）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバのポート番号を半角5文字以内で入力し、■を押します。7（Proxy利用）が「OFF」の場合は設定できません。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「8080」に設定されています。

## ダイヤルアップの詳細情報を設定する

### ■ 1 （IPアドレス自動取得）

IPアドレスを自動で取得する場合は 1（ON）、取得しない場合は 2（OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

### ■ 2 （IPアドレス）

1（IPアドレス自動取得）を「OFF」に設定した場合、プロバイダから通知されているIPアドレスを入力し、■を押します。で「.」の右に移動できます。1（IPアドレス自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

### ■ 3 （DNS自動取得）

DNSサーバのIPアドレスを自動で取得する場合は 1（ON）、取得しない場合は 2（OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

### ■ 4 （プライマリDNS）

3（DNS自動取得）を「OFF」に設定した場合、プライマリDNSサーバのIPアドレスを入力し、■を押します。で「.」の右に移動できます。3（DNS自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

### ■ 5 （セカンダリDNS）

3（DNS自動取得）を「OFF」に設定した場合、セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力し、■を押します。で「.」の右に移動できます。3（DNS自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

### ■ 6 （Proxy認証）

Proxyサーバを利用した認証を行う場合は 1（ON）、行わない場合は 2（OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

### ■ 7 （Proxyユーザ名）

6（Proxy認証）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバを利用する際のユーザ名を半角64文字以内で入力し、■を押します。6（Proxy認証）が「OFF」の場合は設定できません。

### ■ 8 （Proxyパスワード）

6（Proxy認証）を「ON」に設定した場合、Proxyサーバを利用する際のパスワードを半角128文字以内で入力し、■を押します。6（Proxy認証）が「OFF」の場合は設定できません。

## ダイヤルアップ設定を初期化する

**1　待ち受け画面で Web 0**

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で■ 5 6 4 または ✉ ＊ を押して表示することもできます。

**2　1 ► で初期化する設定を選択**

1（ワイモバイル）の設定は初期化できません。

**3　 ► 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

**4　 で「Yes」を選択■**

ダイヤルアップ設定が初期化され、「初期化しました」と表示されます。

# 接続モードを設定する（接続モード）

ダイヤルアップの接続先（Web用／メール用）、送信メールアカウント、受信メールアカウントの組み合わせを決める「接続モード」は、3件まで設定できます。お買い上げ時には、各モードの接続先やアカウントは以下のように設定されています。

| 接続モード | ダイヤルアップ接続先（Web用／メール用） | 送信メールアカウント | 受信メールアカウント |
|---|---|---|---|
| 接続モード1 | 接続先1（ワイモバイル） | Eメール | Eメールのみ ON |
| 接続モード2 | 接続先2 | アカウント2 | アカウント2のみ ON |
| 接続モード3 | 接続先3 | アカウント3 | アカウント3のみ ON |

**1　待ち受け画面で Web 0**

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ■ 5 6 4 または ✉ ＊ を押して表示することもできます。

**2　2 ► 1 ～ 3 のいずれか**

**3　1 ► 接続モードの名称を入力 ■**

お好みの名称をつけることができます。全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

**4　2 ► 1 ～ 3 のいずれか**

ダイヤルアップの接続先は、1件は「ワイモバイル」に固定されており、あとの2件は任意に設定できます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞4-26ページ）

**5　3 ► 1 ～ 3 のいずれか**

ダイヤルアップの接続先は、1件は「ワイモバイル」に固定されており、あとの2件は任意に設定できます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞4-26ページ）

**6　4 ► 1 ～ 3 のいずれか**

メールアカウントは3件まで設定できます。「Eメールアドレスを作成する」（☞3-5ページ）

**7　5 ► 1 または 2**

● **1（受信アカウント選択）を押したときは**

受信アカウントの一覧が表示されます。
1 ～ 3 のいずれかを押すと、受信アカウントのON/OFFを設定する画面が表示されます。1（ON）または 2（OFF）を押すと、受信アカウント選択画面に戻ります。さらに ⊙（完了）を押すと、受信メールアカウント画面に戻ります。
メールアカウントは3件まで設定できます。
「Eメールアドレスを作成する」（☞3-5ページ）

● **2（毎回選択）を押したときは**

受信アカウントを毎回選択するかどうかを設定します。1（ON）または 2（OFF）を押すと、受信メールアカウント画面に戻ります。

**8　受信メールアカウント画面で ⊙ ► ⊙**

接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

# 接続モードを選択する

公衆モードで接続する場合と、オフィスモードで接続する場合のそれぞれについて、あらかじめ接続モード（ダイヤルアップ接続先、送信メールアカウント、受信メールアカウントの組み合わせ）を設定しておくことができます。

## 公衆モード時の接続モードを選択する（公衆接続モード選択）

**1　待ち受け画面で** [Web] [0]

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で [■] [5] [6] [4] または [✉] [＊] を押して表示することもできます。

**2　[3] ► [1] ～ [3] のいずれか**

公衆接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

● **接続モードの詳細を確認するには**

[Ⓘ] で接続モードを選択して [•]（詳細）を押すと、Web用／メール用／ダイヤルアップ接続先、送信／受信メールアカウントなどの詳細情報が表示されます。[クリア] を押すと、公衆接続モード選択画面に戻ります。

● **オフィス接続モードで選択されている接続モードを選択したときは**

「オフィス接続モード選択で選択されています　設定しますか？」と表示されます。[Ⓘ] で「Yes」を選択して [■] を押すと、選択したモードが公衆接続時の接続モードとして設定されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、公衆接続モードは「接続モード1」（接続先はワイモバイル）に設定されています。

## オフィスモード時の接続モードを選択する（オフィス接続モード選択）

**1　待ち受け画面で** [Web] [0]

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で [■] [5] [6] [4] または [✉] [＊] を押して表示することもできます。

**2　[4] ► [1] ～ [3] のいずれか**

オフィス接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

● **接続モードの詳細を確認するには**

[Ⓘ] で接続モードを選択して [•]（詳細）を押すと、接続モードの名称、ダイヤルアップ接続先、送信／受信メールアカウントなどの詳細情報が表示されます。[クリア] を押すと、オフィス接続モード選択画面に戻ります。

● **公衆接続モードで選択されている接続モードを選択したときは**

「公衆接続モード選択で選択されています　設定しますか？」と表示されます。[Ⓘ] で「Yes」を選択して [■] を押すと、選択したモードがオフィス接続時の接続モードとして設定されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、オフィス接続モードは「接続モード3」に設定されています。

# 接続モードを初期化する

**1　待ち受け画面で** [Web] [0]

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で [■] [5] [6] [4] または [✉] [＊] を押して表示することもできます。

**2　[5] ► 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

**3　[Ⓘ] で「Yes」を選択 [■]**

接続モードの設定がお買い上げ時の状態に戻り、「初期化しました」と表示されます。